

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年3月1日

事業所名 放課後等デイサービスぱたぱた西宮校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		整理整頓	法令に遵守したスペースを提供している。
	2	職員の配置数は適切である	○		利用者と職員の比率が2を割らないよう人員確保を行っている。	法令の配置基準を満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	なし	入口など、建築物に依存するところはバリアフリーが困難である。それ以外の場所は必要に応じてバリアフリー化を進めるよう努力する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		なし	随時話し合いの場を設け改善案を出している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		なし	年に1度アンケートを行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		なし	ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	なし	今後実施できるように検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修を受けられるように日程調整している。	研修機会を設けている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		なし	保護者との面談の中で子どもと保護者のニーズを聞き取り、個別支援会議を実施。6ヶ月に一度、放課後等デイサービス計画(支援計画)を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		なし	個々に検査結果等を提出して頂き、把握に努めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		なし	職員会議などを行い決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		なし	新しいプログラムの検討を随時している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		なし	時間に応じた活動内容を設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	○		なし	個別に状況に応じて作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		なし	支援開始前にミーティングをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		なし	支援後にミーティングをしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		なし	記録をとり改善案がないか検討している。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		なし	6か月毎にモニタリングを行って見直しを検討している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○		なし	利用者のニーズに合わせて行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		なし	適切な職員が行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者から行事案内を頂いている。	学校との情報共有は随時行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		なし	連絡体制を整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		なし	情報共有は随時行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		なし	情報共有は随時行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		なし	受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	なし	公園などは行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	なし	繋がりが無いので今後検討していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		なし	送迎時にコミュニケーションを取ったり、連絡ノートを作成している。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	なし	必要に応じて行う。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		なし	契約時に質疑応答を交え誤解の無いよう努力している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		なし	できる範囲で行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	なし	定期的に父母の会を開催し、保護者同士の関わりをもつ機会をつくる。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		なし	苦情相談窓口を設置している。苦情があった場合、迅速かつ適切に対応するように指導している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		なし	連絡帳の記入やイベントのプリントを配布している。
	35	個人情報に十分注意している	○		なし	設立時に指定されている鍵付き保管庫にて保存している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		なし	なるべくわかりやすく伝えるように指導している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	なし	行っていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	なし	作成している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	なし	災害時マニュアルを作成している。避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	なし	研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	なし	身体拘束について実施する予定がないので決めていない。保護者側からの要請があった場合に検討する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	なし	保護者からの書面と聞き取りにてアレルギーの有無を確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	なし	事例集を作成している。